

SDGs 「持続可能な開発目標」

S …… Sustainable (持続できる)

D …… Development (発展・発達・開発)

G …… Goals (目標)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



SDGs は、「誰も置き去りにしない」を基本方針に、貧困、環境、人権などの地球規模の様々な課題を解決するための17分野の目標（ゴール）のことで。

2015年9月にニューヨークの国連本部でサミットが開催され、そこで採択されました。2030年までに、世界が取り組み解決することを目指しています。「グローバル・ゴールズ」(the Global Goals) と呼ばれている場合もあります。

1. 貧困をなくそう *No poverty*
2. 飢餓をゼロに *Zero hunger*
3. すべての人に健康と福祉を *Good health and well-being*
4. 質の高い教育をみんなに *Quality education*
5. ジェンダー平等を実現しよう *Gender equality*
6. 安全な水とトイレを世界中に *Clean water and sanitation*
7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに *Affordable and clean energy*
8. 働きがいも経済成長も *Decent work and economic growth*
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう *Industry, innovation, infrastructure*
10. 人や国の不平等をなくそう *Reduced inequalities*
11. 住み続けられるまちづくりを *Sustainable cities and communities*
12. つくる責任 つかう責任 *Responsible consumption, production*
13. 気候変動に具体的な対策を *Climate action*
14. 海の豊かさを守ろう *Life below water*
15. 陸の豊かさを守ろう *Life on land*
16. 平和と公正をすべての人に *Peace, justice and strong institutions*
17. パートナリーシップで目標を達成しよう *Partnerships for the goals*

ハチドリのおとすく

大きな森火事に一滴ずつ水を運ぶ小さな小さなハチドリ。

「そんなことをしても何になるのだ」と森のみんなが笑います。

ハチドリは「私は、私にできることをしているだけ」と答えました。

「今、私たちに何ができるか」

終わりが見えない世界の問題を、知って、理解し、考え、行動する。

皆さんにも、一人の地球市民として、同じ地球で起こっている様々な問題を考えて欲しいです。自分にできるおとすくを見つけて、一步を踏み出しましょう。

自分たちにあたえ
られている、質の高い
教育の機会も
十分にいかすこと。

他の国と意志を伝え
合えるために言語を
学ぶ。
まずは英語から!

英語の授業で SDGs

昨年度、西中学校では2回に渡り、学校図書館司書の増田先生にお越しいただき、SDGsに触れる授業を行いました。



初回の授業では、増田先生ご自身で訪れた国境なき医師団（MSF）主催の「エンドレスジャーニー展」についてお話をいただきました。

紛争や自然災害の被害者、貧困のための保健医療サービスを受けられない人々などの救助活動の様子や、現地スタッフの声を届けるためにまとめられた写真やパネルを使った説明に、どのクラスも真剣に耳を傾けていました。



2回目の授業では、SDGsを具体的・自主的に考えることを目的として、

①What do you do for SDGs? (自分が今やっていることは何か?)

②What can we do for SDGs? (今の自分に何が出来るか?)

③SDGs 17のゴールをふまえ、私が考える18個目のゴール

について、自由に本や資料をもとに考えを深めました。

それぞれ付箋に書き出し、ゴールごとにまとめていきました。



授業の最後に増田先生に『トイレをつくる、未来をつくる』の読み聞かせをしていただきました。

「東ティモールのマヌタシ村のお話」

日本では当たり前にあるトイレ。とても大切なものだと知っていましたか？

トイレがないと、屋外でうんちをします。すると、そのうんちにハエがたかります。

そのハエはごはんにもたかります。間接的にうんちを食べてしまうことになるのです。

東ティモールではそんな不衛生な環境が原因で、子どもたちの多くが下痢やコレラ、赤痢などの病気にかかっています。

その環境を変えてくれるのがトイレです。

トイレをつくることで、みんなが元気になり、学校に通い、集中して勉強できるようになる。

東ティモールという生まれたばかりの国の未来を築いていくお話です。



授業を終えての生徒の感想

SDGsの資料を見て、少しは自分でできることかあり、これからもっと
いかになくねと思った。今、世界はほぼ1日か5万円を買い取る人だと知り
1日でも多く人の命をなくすのを防ぐのを安価で売ることやめてほしいと
思う。靴屋の人が船で子供を見てどうしてこんなことにならのかと思い、世界中に
終止符を打たなければならない。

地球上では、環境の問題だけでなく、人種差別や国政などの
深刻な問題がたくさんあることが分かった。そのような世界の中で
暮らしていく自分には、小さな事しかできないけれど、それを継続していくこと
で少しずつでも力になると思うので、リサイクルや募金活動など、身近なことから始めて
みようと思った。

自分ができることは44人の意見を聞いてみると、たくさんあることが分かった。
疑問から答えを見つけたとして、行動はうつさなければ意味はない。
今回の授業を活かし、SDGsの取り組みに取り組むつもりだ。
お話を聞いたことだけでもとても良い経験だった。興味をもつことができた。

今の自分では考えられないような貧しい生活をおくっている人、食料を
買えず危険な状態にいる人などが多くいるのだと改めて思った。
このような状況を少しでも無くすには、自分達の力でできる気がかいな
どが大切だと思った。このようなことを積極的に行うためにも、貧困
の人の生活を知るなど、知識を増やすということも大切だと思う。



今回の英語の授業を通じて、多くの生徒に国際理解という面で SDGs を伝えることができました。世界のために行動に移すきっかけになることを信じています。また、図書室との連携により、生徒たちが多くの本や資料に触れることができました。世界で起きている様々な問題を自分で調べ、自分で考えたことは、世界を変える一歩になるはずです。

より多くの人が取り組みを大切にしていけたら、未来を生きる子どもたちの世界が明るくなりますね。

図書館司書の増田先生から授業を終えてメッセージをもらいました。

～2030年、輝く未来の担い手…71期生とともに～

世界の現実を知ることは、心に痛みを受けることもあります。今回の授業で紹介した本や資料は、そんな要素を含んでいました。

3年間、図書室で成長していく71期のみんなを見てきました。そして、その精神的な成長ぶりは目を見張るものでした。読む本の成長、人への気遣いの成長、仕事への真剣さ…etc. そんな71期のみなさんとSDGsを共に学べることができたことになり、選んだ題材は、私の渾身の…すべてをさらけだしたものでした。

そして、やっぱり、71期はすごかった…心に浸透していく皆さんの顔を見ながら、こう思いました。『未来を任せられる』とね。

ちいさなことでも、始めることは意味がある事。壮大な問題こそ、ちいさな一歩をこつこつと、そうして大きな問題は解決していきます。知ったことが財産です。胸を張って歩いてってください。

西中学校図書館司書 増田知佳

SDGs in 西中図書室

西中学校の図書室では、生徒たちの思考力を深めるために、本をSDGs 17の分野に分け、生徒たちが手に取りやすいように工夫しています。



これはユニセフが栄養不良の可能性があるかどうかを調べる際に使用している「命のメジャー」です。実寸大の上腕計測メジャーを印刷し、生徒たちが実際に測れるように設置しています。



図書室前の廊下には、17のゴールが掲示してあり、わかりやすい解説もついています。



図書室内にも SDGs 情報が掲示してあります。



補足

最近、各メディアでも取り上げられている SDGs という単語。ニュースで耳にしたこともあるのではないのでしょうか。

実は中学入試や高校入試でも、SDGs をテーマとした問題の出題が増えています。

新聞にも、これら SDGs 17 のゴールと関連する記事が数多く掲載されています。ゴールを意識しながら記事を読むことで、新たな気づき生まれ、課題解決に向けた様々な取り組みが可能になります。

みなさんも、「ハチドリの一としずく」を探してみませんか。